

2020年度 事業報告

公益財団法人 日本レクリエーション協会

もくじ

2020年度事業総括	3
1. レクリエーション運動を担う人材の育成	4
(1) レクリエーション研修	
(2) 公認指導者養成	
(3) 課程認定校での公認指導者養成	
(4) 公認指導者の審査・登録	
2. 指導者の活動支援と地域組織支援	11
(1) 指導者の再教育	
(2) 情報提供	
(3) 活動支援及び拠点整備	
(4) 公認指導者資格の更新	
3. レクリエーションの普及・啓発	15
(1) 全国イベント・啓発	
(2) 生涯スポーツ推進及びその他レク普及	
4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及	20
5. その他 法人事務	20
2020年度 都道府県別公認指導者数一覧	22

2020年度事業総括

2020年度は、「健康スポーツを推進する連携事業・ネットワークづくり」と「都道府県レク協会の人材養成事業の強化」に力点を置きながら、「1. レクリエーション運動を担う人材の育成・強化」、「2. 指導者の活動支援と地域組織支援」、「3. レクリエーションの普及・啓発」、「4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及」に取り組んだ。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大は以下のように多くの事業に影響を及ぼした。

○中止、延期となった事業

レクリエーション・サポーター養成研修のための講師育成／レク・コーディネーター養成／スポーツ・レクリエーション指導者養成講習会（補講講習会）／地域事業普及促進強化事業／第74回全国レクリエーション大会2020ひょうご／スポーツテンカの普及

○規模縮小、実施方法を変更した事業

教員のためのレクリエーション講習会／元気アップ・リーダー養成／福祉レク・ワーカー養成／心の元気づくり365プロジェクト／ブロック会議／加盟団体運営代表者会議／全国一斉「あそびの日」キャンペーン／健康スポレクひろば普及推進／健康スポーツ推進プロジェクト／元気アップ大会の開催

一方で、感染拡大防止の外出制限によりICTを活用した情報やプログラムの提供が求められたため、公認指導者に向けた情報提供サイト「レクぼ」のリニューアルとコンテンツの豊富化に取り組んだほか、課程認定校学生に向けた情報提供、自宅でできる健康づくりプログラムの配信などにも力を入れた。

その結果、都道府県協会での人材養成事業は大幅に減少したが、課程認定校での養成の極端な落ち込みを免れたことにより、レク・インストラクターの養成は3,143名（前年度3,566名）となった。資格の更新については、2020年度から開始した中級レク・インストラクターの認定数は483名にとどまったものの、レク・インストラクターの更新は20,947名（同21,526名）の予定者に対し14,867名（同14,400名）となり、更新率が初めて70%を超えた（同66.9%）。全体の公認指導者数は昨年度より2,587名（同4,469名）減少した47,878名（同50,465名）となった。

加盟団体や関係団体と連携して「健康スポーツ」を推進する体制づくりについては、情報を共有・発信し、参加者や会員を管理するシステム「ケンスポコム」を開発することができ、9団体の参画を得てスタートすることができた。2021年度はさらに参画団体を上げながら発信力を高め、健康づくりに関心がある一般ユーザーとのつながりを強めていく。

スポーツ・レクリエーション用具の普及についても、新型コロナウイルスの影響を受けて地域レク協会や種目団体の活動が十分実施できなかったため、用具の受注件数が前年の7割弱にとどまった。このため、これまでの商品管理や発送方法、取り扱う用具等を見直し、収入の減少は前年より約3,300万円にとどまった。

上記のとおり、公認指導者養成や資格の更新についても、前年と同程度の養成数、更新者数を維持できたため、全体の収入も前年と比べ5,300万円程度の減少にとどめることができた。

1. レクリエーション運動を担う人材の育成

(1) レクリエーション研修

① 教員のためのレクリエーション講習会（教員免許状更新講習）

学校現場にレクリエーション支援の手法を広く普及するために、文部科学省より教員免許状更新講習開設者の認定を受け、本講習会を開催した。当初は対面講習を予定したが、新型コロナウイルスの影響を受け、通信講習に変更した。

通信講座に切り替えて実施するにあたり、3講習の動画教材の制作に取り組んだ。

通信講習は7月24日～8月23日に開講し、延べ2,069名の教員が受講した。

講習タイトル	講習時間	動画教材	受講者数
教育現場に活かすレクリエーション活動の体験学習	12時間	12本	1,054名
遊びが運動になるレクリエーションプログラムの体験学習	6時間	6本	942名
子どもたちに合わせたレクリエーション活動のアレンジ法	6時間	6本	73名

② レクリエーション・サポーター養成研修のための講師育成

人々の心を元気にするレクリエーション支援について、その基礎となるエッセンスを3時間で学ぶ本研修を拡大するために、講師トレーニング（2会場）の実施を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止した。

なお、前年度に育成した講師により、8都県（秋田県、福島県、栃木県、東京都、富山県、福井県、奈良県、沖縄県）レク協会にて本研修が実施され、千葉県レク協会にて講師トレーニングも、感染予防に配慮しながら開催された。

○レクリエーション・サポーター養成数 : 約1,778名

○レクリエーション・サポーター研修講師登録数 : 200名

③ レクリエーション通信講座

レクリエーション支援の基礎知識を通信学習で学ぶレクリエーション通信講座を実施した。スポーツ庁・スポーツ活動継続サポート事業の補助を受けて動画教材も制作し、テキストと合わせてウェブによる学習を促進した。

○通信講座受講者 85名

④ 元気アップ・リーダーの養成

元気アップ・リーダー養成（都道府県レク協会共催）を10府県（福島県、群馬県、富山県、福井県、京都府、兵庫県、奈良県、山口県、徳島県、高知県）にて16教室開催した。チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員137名、ラダーゲッター普及員76名、スポーツテンカ普及審判員42名、マンカラ普及員241名の合計496名が新たに登録された。

これまでに養成・登録された元気アップ・リーダーを活用した「元気アップ大会」も5

県（富山県、兵庫県、奈良県、山口県、徳島県）で9大会が開催され、232名が参加した。

（２）公認指導者養成

① レクリエーション・インストラクター養成

新型コロナウイルスの影響を受けて、都道府県レクリエーション協会での養成は、24都府県にとどまった。

レクリエーション・サポーター研修や理論科目通信学習、現場学習を導入した新たな養成モデル事業と講師育成も中止した。このため登録者数も169名（前年度443名）にとどまった。

② 課程認定校教員のためのレクリエーション・インストラクター養成講習会

教員の異動等により、急遽レク・インストラクター資格が必要になった課程認定校教員、次年度新規課程認定を希望している学校の教員に対して、課題の事前学習と短期集中型のオンライン学習による養成講習会を開催した。

○オンライン学習：2021年2月12日～14日

○参加者数：21名

③ スポーツ・レクリエーション指導者養成

新型コロナウイルスの影響を受けて、福島県、栃木県、東京都、福井県、岐阜県の5都県（事業計画では9県）での養成にとどまった。

加盟種目団体と連携した養成に向けたカリキュラム・学習方法の見直しについては、加盟種目団体への調査とヒアリングを行い、参画を希望する日本ウォーキング協会等と資格制度の連携や学習内容の確認を経て原案を作成した。

④ レクリエーション・コーディネーター養成

2020年度は新規募集を一旦休止し、スクーリング未受講の受講者を対象とした講習会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止した。

⑤ 福祉レクリエーション・ワーカー養成

レクリエーション支援を介護等の援助計画に活かし、高齢者・障がい者の社会参加促進ができる人材の育成を目指して、福祉レクリエーション・ワーカーの養成を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、スクーリングと福祉レクリエーション総合学習（現場学習）は中止し、通信学習のみ実施した。

○通信教育課程新規受講生：8名

⑥ 資格認定委員会の開催

レクリエーション・インストラクター、スポーツ・レクリエーション指導者、レクリエーション・コーディネーター、福祉レクリエーション・ワーカーの資格認定審査、2021年度新規課程認定校、専門資格学内審査、レクリエーション・インストラクター課程認定校優秀学生表彰について審議を行った。

また、レクリエーション・インストラクタースキルアップ制度、レクリエーション・イ

ンストラクター養成方法の検討も行った。

○資格認定委員会委員

福田 芳則（委員長） 岡山 千賀子 川延 宗之 小池 和幸
松尾 哲矢 吉田 伊津美 小田原 一記 （敬称略）

○第1回：2020年10月16日10:00～12:00 オンライン会議

○第2回：2021年2月25日10:00～12:00 //

○第3回：2021年3月30日14:00～16:00 //

（3）高等教育機関での公認指導者養成

① 課程認定校での公認指導者養成

「公認指導者養成制度」に基づき、大学、短期大学、専門学校の261課程を認定し、公認指導者の養成を行った。

○2020年度課程認定校 養成課程数

養成する資格種別	養成課程数
レクリエーション・インストラクター認定校	213
スポーツ・レクリエーション指導者	26
余暇開発士認定校	0
レクリエーション・コーディネーター認定校	9
福祉レクリエーション・ワーカー認定校	13
合計	261

② 課程認定校制度の学生向け広報

学生に公認指導者制度を周知し、レクリエーション科目の履修と資格取得を促すための冊子を課程認定校（大学・短大・専門学校等約260校）に配布した。また、資格申請時の案内のためのウェブサイト、履修ガイダンスに用いるプロモーションビデオを制作し、各課程認定校に周知を図った。

○冊子：資格とレクリエーション～学生の皆さんに伝えたいこと～

内容：資格取得の意味や、レク資格を活用できる職業の紹介、スキルアップ制度などを紹介。

○ウェブサイト：レク資格を取得してよかったこと

内容：レク資格の活用をマンガで解説。卒業生の活躍の様子を伝える動画も掲載。

https://recschoolstart.recreation.or.jp/s_guide/

○プロモーションビデオ

内容：レクリエーション科目の授業風景、履修した学生の声、卒業生の活躍の様子と勤務先の上司の声をまとめ、科目の履修促進を図った。

③ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組み

養成課程実施における特別措置を定め、書面での周知を行うとともに、オンライン等でのガイダンスやアドバイス、電話での個別支援を行った。

④ 課程認定校研究連絡会議の運営

課程認定校の教育活動の充実と課程認定校相互の連携、都道府県レクリエーション協会との連携を図るために設置された課程認定校研究連絡会議の事務局業務を担った。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、対応はすべてオンラインにて実施した。

○総会・幹事会等

総会	2020年6月22日(月)～ 7月6日(月)	書面方式で開催
第1回 幹事会	2020年6月18日(木)	1.総会開催形態審議 2.2020年度事業計画、予算案審議 3.各緊急課題への対応を行う「検討プロジェクト」の設置と役割の審議 など
第2回 幹事会	2020年7月9日(木)	1.総会の総括 2.全国研究集会の開催(オンライン)について審議 3.検討プロジェクト課題の審議 など
第3回 幹事会	2020年11月14日(土)	1.COVID-19に伴う令和2年度事業計画の取り組み状況 2.検討プロジェクトの検討経緯報告と審議 など
第4回 幹事会	2021年3月24日(水) 26日(金)にわけ開催	1.2020年度の事業報告案・決算報告案の確認 2.2021年度事業計画案・予算案の検討

○会議、研修事業等

全国研究集会	2020年11月14日(土)	<プログラム> 13:00～開会式 13:10～研究発表 13:15～幹事会 17:00～情報交換会 ※事務連絡は動画で案内
ブロック研修	2021年3月7日(日)	COVID-19により対面での開催は実施せず。九州沖縄ブロックにて、オンライン形式にて開催。
課程認定校支援策検討	認定校のレク教育力や人材養成力を高めるための施策の在り方を検討。近畿圏の認定校2校を対象にヒアリング調査も実施	
レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラム検討	日本協会、日本レジャー・レクリエーション学会と協働でレクリエーション学の確立に向けたコア・カリキュラムを検討。一環としてヒアリングやアンケート調査を実施	
研究大会や研修事業検討	オンラインでの開催形態などを検討。一環として全国研究集会の研究発表および九州ブロック研修会をオンラインで実施	
研究助成および自由時間研究検討	自由時間研究への論文投稿拡大等を目的とした各種検討と研究助成事業の検討	
研究連絡会議規約や会務検討	ICTを活用した会務のスリム化など、会員の参画を促進するための会運営方法の検討	

○自由時間研究の発行

2019（令和元）年度の研究助成と自由投稿論文、合計13本の論文を研究紀要「Leisure & Recreation 自由時間研究」第45号に掲載・発行。J-STAGE（独立行政法人科学技術振興機構が運営する電子ジャーナルの無料公開システム）に「Leisure&Recreation 自由時間研究」登録した。

○助成研究事業：3件の研究助成を採択した（自由時間研究 第46号に掲載予定）。

○日本レジャー・レクリエーション学会との事業連携

令和元年度より参画している学会事業への参加に加え、前述の「レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラム検討」を行った。

○課程認定校研究連絡会議会務事務局業務：会計管理など諸事務を処理した。

⑤ 補助教材の制作・配布

課程認定校でのレクリエーション・インストラクター養成テキスト「楽しさをとおした心の元気づくり」の活用を促進するために、実技科目の補助教材を制作・献本した。

補助教材は、指導案（進行案）とレクリエーション活動の動画（QRコード）を掲載し、動画の視聴とその解説を通して学生の実践力を高めるもので、授業のサポートツールとして来年度以降も活用を促す。

（４）公認指導者の審査・登録

① レクリエーション・インストラクターの審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会で開催	169名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	2,936名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会で開催	21名
合計		3,126名

参考：2019（令和元）年度

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会で開催	443名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	3,114名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会で開催	9名
合計		3,566名

② スポーツ・レクリエーション指導者の審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	日本レク協会と栃木県・東京都・福井県・岐阜県レク協会で開催	6名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	230名
合計		236名

参考：2019(令和元)年度

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	日本レク協会と福島県レク協会で実施	106名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	108名
合計		214名

③ レクリエーション・コーディネーターの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2021年3月6日：web審査	3名	3名	3名
一般合計		3名	3名	3名
課程認定校 (7校)	各学校の学内審査により実施	38名	38名	38名
合計				41名

参考：2019(令和元)年度

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2020年2月11日：山口会場 山口市小郡ふれあいセンター	3名	3名	3名
	2020年2月22日：東京会場 日本レクリエーション協会	5名	5名	5名
	2020年2月23日：東京会場 大清ビル貸し会議室	3名	3名	3名
一般合計		11名	11名	11名
課程認定校 (6校)	各学校の学内審査により実施	32名	29名	29名
合計				40名

④ 福祉レクリエーション・ワーカーの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2021年3月13日：web審査	1名	1名	1名
一般合計		1名	1名	1名
課程認定校 (10校)	各学校の学内審査により実施	48名	45名	45名
				46名

参考：2019(令和元)年度

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2020年2月15日：大阪会場 キリスト教ミード社会館	4名	4名	4名
	2020年2月29日：東京会場 日本レクリエーション協会	7名	7名	7名
一般合計		11名	11名	11名

課程認定校 (16校)	各学校の学内審査により実施	86名	78名	78名
				89名

2. 指導者の活動支援と地域組織支援

(1) 指導者の再教育

① スポーツ・レクリエーション指導者養成講習会(補講講習会)

「スポーツ・レクリエーション指導者」の学習課程を用いて、レクリエーション・インストラクター及びレクリエーション・コーディネーター資格を持つ公認指導者を主な対象とした講習会を千葉県、山口県、熊本県で予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

なお、中止となった3県については、2021年度の開催を予定している。

(2) 情報提供

① 「レクぽ」を活用した情報配信

動画コンテンツの充実を図り、公認指導者、課程認定校及び学生等が利用しやすくなるようリニューアルした。

動画閲覧のためのカテゴリーを、活動現場や対象者等で整理したほか、公認指導者の動画をまとめた「レクチャンネル」も設置し、公認指導者や都道府県レク協会等が制作した動画も視聴できるようにした。

閲覧できる動画の数など、公認指導者と一般ユーザーとの差別化を図ったほか、課程認定校の学生が公認指導者と同等に利用できる仕組みも設け、課程認定校の「レクぽ」活用と学生の登録を促進した。

○アクティビティ：515本 ○動画：88本 ○記事：1,596本

○アクセス評価：閲覧数：3,912,605PV 訪問者数：561,232人

参考 2019年度:閲覧数：2,701,478PV 訪問者数：380,488人

② 情報誌Recrew（レクルー）の発行

公認指導者をはじめレクリエーション活動に関わる人たちに向けて、役立つプログラムやノウハウ、用具等の情報を提供する情報誌Recrew（レクルー）を発行した。

年6回発行。特集では、レクリエーションの普及啓発に関する内容や、新型コロナウイルス流行下における活動の在り方などを特集に取りまとめ掲載した。

号 別	特 集
2020年5月号	学校レクリエーション いまの先生に必要？
2020年8月号	新型コロナとレクリエーション
2020年10月号 [特別増刊号]	資格とレクリエーション～学生の皆さんに伝えたいこと～
2020年11月号	いまだから、できること
2021年2月号 [特別増刊号]	学びのススメ
2021年3月号	STAY HOMEでも大切なこと

(3) 地域組織支援

① 加盟団体運営代表者会議

日本レクリエーション協会に加盟する都道府県レクリエーション協会、種目別加盟団体、領域別加盟団体の運営代表者が集まり、レクリエーション運動の方向性や課題について検討する会議をオンラインにより開催した。

13時より全体会を開催するとともに、都道府県レクリエーション協会、種目別加盟団体についてはそれぞれ分科会を開催し、次年度の事業方針の確認と、それぞれが抱える課題についての議論、情報交換を行った。

○期 日 2020年12月3日(木)

○開催方法 オンライン会議

② ブロック会議

人材養成事業の活性化策の検討をはじめ、都道府県レクリエーション協会との連携・協調を図るためのブロック会議を、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、オンラインにより開催した。

ブロック名	日 程	開催地	幹事県
北海道・東北	8月24日(月)	15:30~17:30	青森県
関東・甲信越	8月28日(金)	10:00~12:00	山梨県
東海・北陸	8月24日(月)	13:00~15:00	静岡県
中国・四国	8月28日(金)	13:00~15:00	島根県
九州・沖縄	8月24日(月)	10:00~12:00	鹿児島県

※近畿ブロックは各ブロックに分散して参加

③ 地域事業普及促進強化事業

都道府県レクリエーション協会の事業活性化と人材養成事業強化に向けたマネージャー育成及びモデル事業を、人材養成事業が難しい状況にある、または事業の活性化に向けた計画等を設けた都道府県レク協会(数ヵ所)で予定していたが、新型コロナウイルスの影響を受けて中止した。

(4) 公認指導者資格の更新

① レクリエーション・インストラクタースキルアップ制度の整備

2020年度からの中級レクリエーション・インストラクターの審査認定に伴い、中級レクリエーション・インストラクターに期待することや心構えをまとめたハンドブックを制作。対象者へ配布するとともに、各都道府県レクリエーション協会へも配布し、スキルアップ制度の周知、普及を図った。

また、準上級及び上級の申請・認定要件及び、都道府県レクリエーション協会の役割をまとめ、制度の全体像と合わせて、都道府県レクリエーション協会、ホームページ、レクラー、中級レクリエーション・インストラクターハンドブックを通じて周知を図った。

② 中級レクリエーション・インストラクターの審査認定

2018年度に準中級に昇級した者、2020年度更新時までには4年から7年間レクリエーション・コーディネーターまたは福祉レクリエーション・ワーカーとして活動した者を対象に審査を行い、483名を中級レクリエーション・インストラクターに認定した。

③ 準上級レクリエーション・インストラクターの特別認定

2020年度更新時までには8年間以上レクリエーション・コーディネーターまたは福祉レクリエーション・ワーカーとして活動する者1,389名を、準上級レクリエーション・インストラクターに特別認定した。

④ 上級レクリエーション・インストラクターの特別認定について

旧公認指導者制度において上級及び1級指導者に認定された経歴を持つ者、1996年4月1日以前からレクリエーション・コーディネーターとして活動する者415名を、上級レクリエーション・インストラクターに特別認定した。

⑤ 公認指導者資格の更新（2021年3月31日現在）

資格名	更新対象者数	更新者数	更新率
余暇開発士	222名	187名	84.23%
レクリエーション・インストラクター	20,947名		70.97%
準中級レクリエーション・インストラクター		12,580名	
中級レクリエーション・インストラクター		483名	
準上級レクリエーション・インストラクター		1,389名	
上級レクリエーション・インストラクター		415名	
スポーツ・レクリエーション指導者	619名	589名	95.15%
レクリエーション・コーディネーター	1,144名	1,011名	88.37%
福祉レクリエーション・ワーカー	1,875名	1,572名	83.84%
のべ人数	24,807名	18,226名	73.47%

⑥ 公認指導者数（2021年3月31日現在）

資格名	人数
スポーツ・レクリエーション指導者	1,694名
レクリエーション・インストラクター	12,289名
準中級レクリエーション・インストラクター	25,676名
中級レクリエーション・インストラクター	483名
準上級レクリエーション・インストラクター	1,389名
上級レクリエーション・インストラクター	415名
余暇開発士	438名
レクリエーション・コーディネーター	2,149名
福祉レクリエーション・ワーカー	3,345名
のべ人数	47,878名

参考：公認指導者資格の更新（2020年3月31日現在）

資格名	更新対象者数	更新者数	更新率
レクリエーション・インストラクター	21,526名	1,388名	66.9%
準中級レクリエーション・インストラクター		13,012名	
スポーツ・レクリエーション指導者	579名	566名	97.75%
余暇開発士	297名	251名	84.51%
レクリエーション・コーディネーター	1,148名	1,021名	88.93%
福祉レクリエーション・ワーカー	2,011名	1,536名	76.38%
のべ人数	25,561名	17,774名	69.53%

参考：公認指導者数（2020年3月31日現在）

資格名	人数
スポーツ・レクリエーション指導者	1,495名
レクリエーション・インストラクター	15,163名
準中級レクリエーション・インストラクター	27,538名
余暇開発士	470名
レクリエーション・コーディネーター	2,226名
福祉レクリエーション・ワーカー	3,573名
のべ人数	50,465名

3. レクリエーションの普及・啓発

(1) 全国イベント・啓発

① 第74回全国レクリエーション大会2020 ひょうご

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、2020年度の開催を延期し、2022年度(第76回大会)として開催する予定。

② 全国一斉「あそびの日」キャンペーン2020

「あそび」を通して子どもたちを育み、家族のふれあい、地域の交流等を全国各地で促進するために、全国一斉「あそびの日」キャンペーン2020(17回目)を開催した。2020年度は新型コロナウイルスの影響を受け、実施期間を秋に移行した。

「with コロナのあそびチャレンジ」をサブタイトルとし、スポーツ庁、都道府県レクリエーション協会の共催のもと、ICTを活用した「オンラインチャレンジ」と、三密を避けて楽しむイベント「リアルチャレンジ」の2つのカテゴリーに分けて実施した。

○サブタイトル with コロナのあそびチャレンジ

○開催期間 2020年10月1日(木)～12月13日(日)

○主催 公益財団法人日本レクリエーション協会

○共催 スポーツ庁、都道府県レクリエーション協会

○プログラムの内容

・オンラインチャレンジ

「おうちで60秒チャレンジ」のランキングに挑戦する「うちチャレ」と、新しいあそびを考案する「ガキチャレ」を募集。「うちチャレ」110件、「ガキチャレ」90件の応募があり、「うちチャレ」27団体、「ガキチャレ」6団体を表彰した。

・リアルチャレンジ

「全国秋のウォークラリー大会～身近な自然でリフレッシュ～」 「健康スポレクひろば普及推進事業」 「～スポーツ・イン・ライフを推進する～元気アップ教室」 「スポーツ実施率の向上を目指した～元気アップ大会」 など、全国約115事業に約26,600名が参加した。

③ ホームページ等のインターネットを活用した情報配信

公式WEBサイトにて当会の業務や資格に関する情報を配信したほか、SNS(フェイスブック、ツイッター)にて日々の情報配信を実施した。

また、メールでの情報配信サービスを新たに開設し、公認指導者等の対象に合わせて3種のメールマガジンを配信した。

○WEBサイト配信

・協会サイト recreation.or.jp 閲覧数：1,272,120PV 訪問者数：338,289人

・レクリエーション情報サイト「レクぼ」 recreation.jp

・健康スポーツ促進サイト「ケンスポコム」 kenko.sportscom.jp

・レクリエーション・カタログ shop.recreation.jp

・レクリエーション資格紹介サイト recreation.jp/shikaku/

- ・レクリエーション・サポーターサイト supporter.recreation.or.jp
- ・元気アップ・プログラムサイト genki-up.recreation.or.jp
- ・講師派遣サイト kensyu.recreation.or.jp
- ・あそびの日サイト asobi.recreation.jp/asobinohi/
- ・子供の体力向上ホームページ recreation.or.jp/kodomo/
- ・課程認定校紹介サイト recschoolstart.recreation.or.jp
- ・マンガで解説「レク資格を取得してよかったこと」
https://recschoolstart.recreation.or.jp/s_guide/
- ・スポーツテンカサイト sportstenka.com
- ・あそび.net asobi.recreation.jp
- ・元気な高齢者を増やすための応援サイト newelder.recreation.or.jp
- ・スポーツ・レクリエーションの新たな可能性 universal.recreation.or.jp

○メールマガジン

- ・公認指導者向け レクマガ (月2回配信)
- ・レクリエーション・サポーター向け ピアサポ (つき2回配信)
- ・用具・書籍購入者向け レクリエーション・カタログメルマガ (月1～2回配信)

(2) 生涯スポーツ推進及びその他レク普及

① 「健康スポレクひろば」普及推進事業

普段運動をしていない高齢者(スポーツ未実施者)に参加を促し、スポーツ・レクリエーション活動を通じた健康づくりを行う「健康スポレクひろば」普及推進事業を実施した。2020度は、新型コロナウイルスの影響により、全国48カ所(新規10カ所、昨年度からの継続16カ所、自主財源で実施した自走地区22カ所)での実施となった。

(参考:2015年度:6カ所、2016年度:23カ所、2017年度:42カ所、2018年度:55カ所、2019年度:59カ所)

○新規・継続地区(26地区)

No	都道府県	開催市町村	種別	参加人数
1	千葉県	野田市	新規	45
2	東京都	中央区	新規	12
3		多摩市	新規	20
4		上越市	継続	32
5		阿賀野市	継続	29
6		五泉市	継続	14
7		村上市	継続	18
8		佐渡市	継続	14
9		燕市	継続	24
10		新潟県	新潟市 中央区とやの	継続
11	新潟市 西区こぼり		継続	36
12	新潟市 南区		継続	19
13	新潟市 西蒲区西川		継続	18
14	新潟市 西蒲市岩室		継続	40
15	新潟市 西蒲区中之口		継続	35
16	新潟市 西区内野		継続	13

No	都道府県	開催市町村	種別	参加人数
17	兵庫県	淡路市	新規	20
18	島根県	松江市	継続	14
19		宇部市	新規	30
20		山口市 旦	新規	18
21	山口県	山口市 中村	新規	14
22		下関市 安岡	新規	17
23		山陽小野田市 高泊	新規	15
24	熊本県	植木町 那知	新規	10
25		植木町	継続	10
26		八代市	継続	20
合計				558

○自走地区(22地区)

北海道北見市・茨城県取手市、城里市・千葉県船橋市、茂原市・富山県氷見市・石川県金沢市、能美市・福井県勝山市、坂井市・山梨県南アルプス市、北杜市・岐阜県大垣市・大阪府住之江区・愛媛県松山市①、松山市②、新居浜市・福岡県筑紫野市、下見地区、

大木町・佐賀県佐賀市、武雄市

② スポーツ・レクリエーション活動部創設事業（スポーツ庁・運動部活動改革プラン）

若い世代のスポーツ実施率の向上と、生涯にわたってスポーツ・レクリエーション活動を生活に取り入れるきっかけとなるような運動部活動のモデルづくりを、スポーツ庁より委託を受け、東京都八王子市、大阪府大阪市の中学校 8 校において実施した。

○東京都八王子市：いずみの森義務教育学校／第四中学校／川口中学校／打越中学校／鎌水中学校／別所中学校

○大阪市：今宮中学校（西成区）／井高野中学校（淀川区）

スポーツ・レクリエーション活動部（スポレク部）を創設し、9 月～2 月にかけて週 1 回部活動を実施。東京都八王子市レクリエーション協会、大阪府レクリエーション協会と公認指導者が指導にあたり、実施回数は 8 校合計で 73 回、部員数は 92 名となった。

このほか、全国にスポレク部の導入を促すためのホームページを開設し、実施した種目や部員の様子などを掲載した。あわせて、パンフレット「スポレク部始めませんか？～スポーツ・レクリエーション活動部の創設～」を作成し、都道府県および市町村教育委員会へ配布。ホームページからのダウンロードもできるようにした。

③ 健康スポーツ推進プロジェクト：健康スポーツ活動応援サイト「ケンスポコム」の開設

スポーツ庁「Sport in Life 推進プロジェクト」及び加盟団体と連携して健康スポーツを推進するために、加盟種目団体との連携イベントと健康スポーツを普及する情報サイトの開発を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を受けて加盟種目団体との連携イベントは実施しなかった。

情報サイトの開設については、スポーツ・レクリエーション団体の個人情報管理および教室やイベント等の集客活動等の支援を行う新情報サービスとして、「ケンスポコム」を開発した。

本システムは大日本印刷株式会社に開発を委託し、同社が提供するスポーツ情報サービスシステムを基盤としつつ、新たに複数のスポーツ・レクリエーション団体が安全に会員管理できる共通会員管理機能等を開発した。

その他団体間のデータ連携機能など、2020 年度は主に以下の機能を開発した。

○イベント・教室・セミナーなどのエントリー

各団体が開催するイベントや教室を探し、参加手続きが行える機能。

○各団体への入会、会費支払い

入会したい団体を探し、入会手続きが行える機能。また、クラブやサークルなどへの入会申し込みもでき、会費支払いなどの収納代行機能も実装。

○団体からのお知らせ・ニュース

各団体からのニュースやお知らせの配信と、それを通知する機能。

○健康づくりに役立つチャンネル「健康チャンネル」

運動プログラムや健康スポーツの実践に参考となるコラム等の情報を、「レクぽ」サイトとのデータ連携により提供する機能。

なお、今後は、「ケンスポコム」を共用するスポーツ・レクリエーション団体を拡げ、掲載する健康スポーツに関する情報の充実などを引き続き行う。

【本サービスに参画中のスポーツ・レクリエーション団体】（種目または活動名 50 音順
2021 年 3 月末現在）

一般社団法人日本インディアカ協会／一般社団法人日本ウォーキング協会／一般社
団法人日本オートキャンプ協会／一般社団法人日本カバディ協会／日本コーフボー
ル協会／一般社団法人日本スポーツウエルネス吹き矢協会／公益社団法人日本フラ
イディングディスク協会／公益財団法人日本レクリエーション協会／認定 NPO 法人ロー
ンボウルズ日本

【今後本サービスに参画予定のスポーツ・レクリエーション団体】

公益社団法人日本キャンプ協会／公益社団法人日本フォークダンス連盟 ほか

④ 全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会

年間を通して、いつでも、どこでも、誰でも参加することができる「全国いつでもチャ
レンジ・ザ・ゲーム大会」を開催し、合計で 277 件の記録が認定された。

なお、予定していた新種目の開発は令和 3 年度に延期した

⑤ 受託研修、講師派遣等によるレクリエーションの普及

○心の元気づくり 365 プロジェクト

レクリエーションを広く普及するために、無償で講師を派遣し様々な活動や研修プロ
グラムを提供する本プロジェクトを実施し、大阪府、福岡県、沖縄県からの依頼に対し、
各府県レクリエーション協会の講師を派遣した。

研修内容	件数（件）	参加人数（名）
レクリエーション体験教室（1～2 時間）	1	61
レクリエーション研修（3 時間）	2	61
合 計	3	122

○研修会等への講師派遣

山梨県、千葉県、東京都、神奈川県、滋賀県、山口県、香川県からの依頼に対し、講師
を派遣した。

なお、課程認定校の学生を対象とした研修についてはオンライン授業で実施した。

領域	概要	件数
スポーツ・レク	スポーツ推進委員の研修会等	2
福祉・介護	介護レクリエーション研修会等	6
PTA・地域活動	親子・家族レクリエーション等	2
教諭（小・中学校）	教育委員会・教諭を対象とした研修等	1
学生（課程認定校）	大学からの依頼による派遣 ※オンライン授業	2
	合計	13

⑥ 令和 2 年度「体育の日」中央記念行事

スポーツ庁やスポーツ関連団体と共に、例年開催してきた「体育の日」中央記念行事は
中止となった。

⑦ 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2020

スポーツ庁、関連団体と共に「生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2021 - 人・スポーツ・未来 -」を実施。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインでの開催（ウェビナー）となった。

全体テーマ「スポーツの力 ～新しい生活様式におけるスポーツ」のもと、基調講演と3つのセッションを実施。この中で、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合と連携してセッション2「新しい生活様式におけるスポーツ」の企画運営を行い、「おうちで60秒チャレンジ」の実技体験を実施した。このほか、協賛団体の運営総括を担当した。

○主催：スポーツ庁、生涯スポーツ・体力づくり全国会議実行委員会（公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本レクリエーション協会、公益財団法人日本体育施設協会、公益財団法人スポーツ安全協会、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合、公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、公益財団法人健康・体力づくり事業財団）

○期 日：2021年2月5日（金）13:00～16:50

○開催方法：ライブ配信 ライブ配信終了後2週間のオンデマンド配信

○参加者：1181名

⑧ 子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動事業

全国秋のウォークラリー大会 ～身近な自然でリフレッシュ～（文部科学省委託）

コロナ禍であっても感染予防に配慮しながら、子どもたちの心と体の元気づくりを行うために、身近な自然を感じ再発見するウォークラリーと屋外で適度な運動を楽しむ「全国秋のウォークラリー大会」を開催した。全国27会場で実施し、約3,200名の参加を得た。

大会で使用するウォークラリーコース図（コマ図）はホームページでも公開し、期間内にいつでも家族でウォークラリーが体験できるようにした。

⑨ おうちで60秒チャレンジ

コロナ禍において自宅のできる運動あそびとして、60秒間でチャレンジする10種類の種目を開発し、webサイトに公開した。チャレンジした様子の動画をSNSに掲載することで参加できるイベント「おうちで60秒チャレンジランキング」も開催し、約120件の記録申請があった。

本事業はスポーツ庁のホームページ「子供の運動あそび応援サイト」でも紹介されたほか、課程認定校のオンライン授業や現場実習でも活用された。

⑩ スポーツテンカの普及

都道府県レクリエーション協会と連携して、指導者派遣、情報提供、愛好者のネットワーク化等、組織化を目指した普及体制づくりを行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響を受けて実施しなかった。

4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及

① レクリエーション・カタログ 2021 の作成

スポーツ・レクリエーション活動を効果的に実施するための用具・書籍を紹介するレクリエーション・カタログ 2021 を作成した。約 2 万部を発行し、全国の福祉施設、関連機関・団体へ配布した。

② サービスセンター倉庫の移転と取り扱い商品の見直し

新型コロナウイルスの影響により用具・書籍の受注数が減少したため、収益性や保管経費の観点から取扱商品の見直し（約 500 から約 300 へ削減）と倉庫の移転を行った。また、当協会で作成するラダー・ゲッターについて、ユーザーの意見をもとに改良等を行った。

③ ウェブサイト：レクリエーション・カタログの運用

新型コロナウイルスの影響で ICT 活用が進み、用具・書籍の購入についてもウェブの利用率が上がった。このため、サイトの運営・充実を行った。

○アクセス評価：閲覧数：292,995PV 訪問者数：42,610 人

5. その他 法人事務

① 生涯スポーツ功労者表彰（文部科学大臣表彰）

地域におけるスポーツ・レクリエーションの健全な普及及び発展に貢献し、功績顕著なレクリエーション指導者を日本レクリエーション協会が推薦し、下記の方々が生涯スポーツ功労者として認められ、文部科学大臣より表彰された。なお、新型コロナウイルスの影響により、表彰式は中止された。

段 幸子 氏（富山県レクリエーション協会事務局次長）

齋木 はな 氏（埼玉県上里町レクリエーション協会会長）

阿部 久美子 氏（熊本県レクリエーション協会理事長）

山田 誠 氏（認定 NPO 法人ローンボウルズ日本 会長）

木下 ちづ代 氏（(公財)大阪府レクリエーション協会公認講師）

高井 薫 氏（山梨県レクリエーション協会 副会長）

町 季与子 氏（長野県東信レクリエーション協会 会長）

黒羽 昭 氏（(一社)東京都レクリエーション協会 専務理事）

大島 寛 氏（日本フライングディスク協会 理事）

萩尾 純子 氏（公益社団法人 日本ダーツ協会 理事）

② 内閣府エイジレス・ライフ実践事例「エイジレス章」

内閣府が、65 歳以上で自由にいきいきとした生活を送ること（「エイジレスライフ」）を積極的に行っている高齢者や団体などを広く紹介する「エイジレス章」に、村田昌子さん

(大阪府レクリエーション協会) が選考された。

③ レクリエーション運動普及振興功労者表彰（理事長表彰）

レクリエーション運動の普及・発展に多大なる功績をあげた者を、加盟団体より推薦を受け、90名、7団体を表彰した。なお、新型コロナウイルスの影響により、表彰式は中止した。

○受賞者	都道府県レクリエーション協会推薦	80名
	種目・領域加盟団体推薦による推薦	10名
	市町村レクリエーション協会	7団体

④ 理事会

○第1回 2020（令和2）年6月1日（月）14：30～15：30
公益財団法人 日本レクリエーション協会 会議室
※オンライン会議で実施

- ・2019（令和元）年度事業報告(案)について
- ・2019（令和元）年度収支決算(案)について
- ・2019（令和元）年度定時評議員会の招集について

○第2回 2021（令和3）年3月17日（水）13：00～15：30
公益財団法人 日本レクリエーション協会 会議室
※オンライン会議で実施

- ・2021（令和3）年度事業計画(案)について
- ・2021（令和3）年度収支予算(案)について
- ・加盟団体規則の改定について
- ・評議員の選定について
- ・その他

⑤ 評議員会

○定時評議員会 2020（令和2）年6月17日（水）14：00～15：00
日本青年館 8階（カンファレンスルーム）

- ・2019年度収支決算報告（案）について
- ・その他

[都道府県別公認指導者一覧] (令和3年3月31日現在)

所属協会	人数	レクリエーション・インストラクター				スポレク指 導者	余暇開発士	レク・コーデ ィネーター	福祉レク・ワ ーカー	延べ数	
		準中級	中級	準上級	上級						
1 北海道	1,769	577	1,081	27	34	26	94	5	87	42	1,973
2 青森県	681	180	448	7	25	3	22	1	14	49	749
3 岩手県	742	141	540	6	33	5	10	2	29	58	824
4 宮城県	1,169	311	740	14	22	15	55	4	83	127	1,371
5 秋田県	415	82	292	4	5	11	21	2	23	25	465
6 山形県	336	34	211	2	6	1	0	1	19	87	361
7 福島県	1,029	230	710	17	24	10	41	3	41	81	1,157
8 茨城県	884	257	513	6	25	12	17	7	30	120	987
9 栃木県	1,076	536	460	6	41	10	22	6	30	114	1,225
10 群馬県	996	450	485	6	31	2	17	6	16	62	1,075
11 埼玉県	1,174	281	798	26	27	10	39	18	53	73	1,325
12 千葉県	1,173	278	791	12	38	10	42	27	71	63	1,332
13 神奈川県	1,237	236	880	17	31	13	38	32	75	59	1,381
14 東京都	2,459	694	1,406	42	91	41	135	56	140	177	2,782
15 新潟県	1,578	562	783	3	85	10	51	42	146	253	1,935
16 富山県	539	158	339	1	15	8	24	5	26	27	603
17 石川県	263	43	184	5	19	3	28	2	22	27	333
18 福井県	555	242	259	2	23	8	18	2	37	132	723
19 山梨県	290	134	145	3	5	1	15	0	5	9	317
20 長野県	745	135	552	14	20	1	46	3	46	43	860
21 岐阜県	954	231	654	12	32	3	64	5	51	52	1,104
22 静岡県	1,257	378	727	13	60	8	40	11	59	167	1,463
23 愛知県	2,046	792	1,057	28	67	14	78	7	117	116	2,276
24 三重県	834	217	536	9	35	10	6	4	51	76	944

所属協会	人数	レクリエーション・インストラクター				スポレク指 導者	余暇開発士	レク・コーデ ィネーター	福祉レク・ワ ーカー	延べ数		
		準中級	中級	準上級	上級							
25	滋賀県	284	29	220	1	12	5	5	4	29	22	327
26	京都府	546	87	385	11	23	9	15	4	58	42	634
27	大阪府	1,907	614	1,136	19	54	16	56	21	125	109	2,150
28	兵庫県	1,837	635	1,064	23	46	16	67	41	61	125	2,078
29	奈良県	249	123	110	3	4	1	44	7	11	10	313
30	和歌山県	263	33	202	2	7	9	2	2	15	17	289
31	鳥取県	286	58	195	3	17	3	20	3	11	35	345
32	島根県	500	92	371	7	16	2	8	3	22	26	547
33	岡山県	860	252	495	8	61	12	7	9	48	123	1,015
34	広島県	1,289	247	840	18	56	16	26	21	71	169	1,464
35	山口県	789	225	502	7	32	6	33	6	37	69	917
36	徳島県	658	256	340	11	11	4	147	3	11	43	826
37	香川県	593	143	427	6	9	1	15	4	9	20	634
38	愛媛県	766	241	483	5	23	1	28	4	14	48	847
39	高知県	550	206	325	2	8	1	16	0	12	13	583
40	福岡県	1,936	679	1,120	15	47	18	20	29	102	72	2,102
41	佐賀県	406	151	224	2	22	3	29	4	8	67	510
42	長崎県	628	89	496	11	9	7	26	1	26	26	691
43	熊本県	507	97	378	7	14	3	2	2	18	29	550
44	大分県	657	200	394	11	27	7	31	4	30	59	763
45	宮崎県	515	115	358	7	13	14	50	4	30	24	615
46	鹿児島県	887	215	562	10	59	12	46	9	66	120	1,099
47	沖縄県	709	300	350	4	21	10	77	2	43	31	838
48	北九州市	155	23	108	7	4	4	1	0	21	7	175
	合計	41,978	12,289	25,676	483	1,389	415	1,694	438	2,149	3,345	47,878